

裁判関係者と未来の候補者のための一冊！



東弁協叢書

実践！ Q & A

裁判員裁判

裁判員裁判実務研究会／編著

● A5判・定価（本体2,381円＋税） 送料290円

本書の特色

裁判員裁判の一連の流れを
Q & Aでわかりやすく丁寧に解説。
模擬裁判等の経験をもとに、裁判員選任の
質問例、交互尋問例、評議の運営例等を掲載。

はしがきより

いよいよ裁判員制度が始まりました。この制度の意義については、すでにいろいろと論じられ、またそれがもたらす制度上ないし実務上の諸問題もたくさん指摘されています。一般的にいうと、わが国の刑事司法は、世界的に見てとても清潔でかつ正確に運用されてきたといえますが、手続がかなり密室化して、一般の市民に分かりづらく、また時間がかかりすぎるくらいがありました。

一方、5年間の準備期間があったとはいえ、一般の市民としては、自分達とは関係がないと思っていた刑事の重大事件の審理に義務的に立ち会わされ、裁判官と一緒にではあるが、他人の人生にかかわる重大な決定をさせられ、かつ終了後も得体の知れない「守秘義務」なるものを一生負わされる、という不安や物理的・経済的・心理的負担に戸惑っています。

裁判員体験者の「心のケア」をどう手当てするかも、大きな問題でしょう。

混迷する世界の諸状況の中で、わが国がその正当な地位を占め、人類に貢献をしてゆくためには、われわれが民主主義に基づく健全な資本主義体制を保ちながら、「いのち」が尊重され、人々が自由に自己表現ができ、正義が行われる社会を構築していかなければなりません。そのためにも、一般の市民の皆さんの裁判員裁判への積極的な参加と支持がぜひとも必要です。一般市民の皆さん、裁判員制度がもたらすもののポジティブな面を信じ、ネガティブな面を克服する努力を、われわれ法律専門家達と一緒に、してゆこうではありませんか。

弁護士（元最高裁判所判事）濱田邦夫